

Mizuho Bangkok Daily Market Report

Dated of 2022/07/11

Forex

	Close	CHANGE
USD/THB	35.88	-0.16
JPY/THB	0.2637	-0.0013
USD/JPY	136.10	0.09
EUR/THB	36.55	-0.07
EUR/USD	1.0185	0.0025
USD/CNH	6.686	-0.007
SGD/THB	25.69	-0.04
AUD/THB	24.61	-0.04
USD/INR	79.25	0.08
USD Index	107.01	-0.12

Bond

	Close	CHANGE
5Y (THB)	2.278	-0.047
10Y (THB)	2.617	-0.084
5Y (USD)	3.123	0.091
10Y (USD)	3.080	0.086

Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	1,742.3	2.6
WTI (Oil)	104.79	2.06
Copper	7,805.5	-17.0

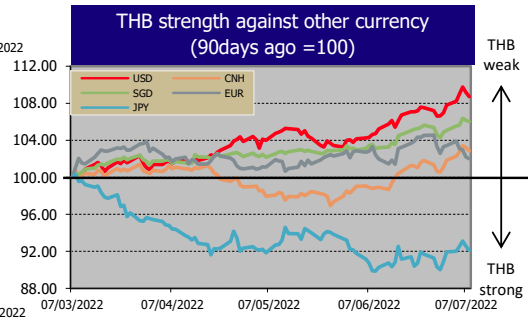
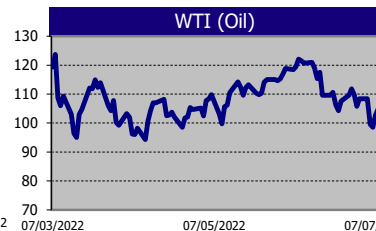
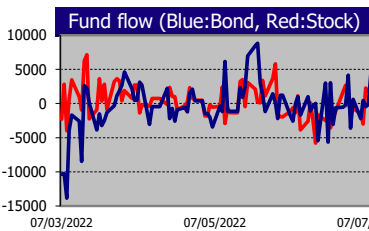
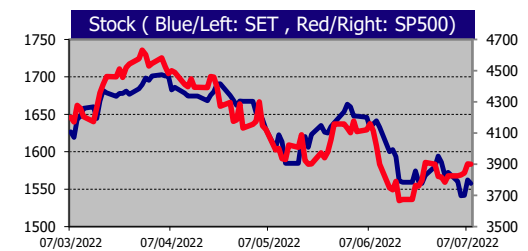
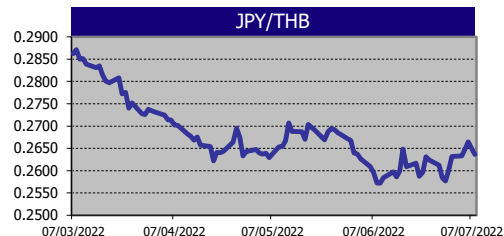
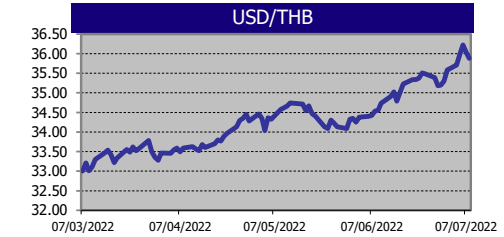
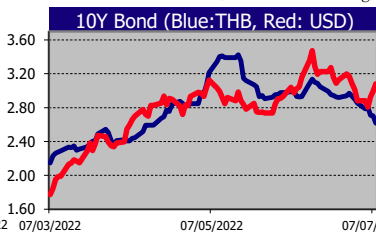
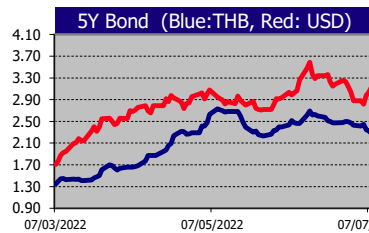
Stock

	Close	CHANGE
SET (TH)	1,557.87	-4.50
NIKKEI (JP)	26,517.19	26.66
DOW (US)	31,338.15	-46.40
S&P500 (US)	3,899.38	-3.24
SHCOMP (CN)	3,356.08	-8.32
DAX(GER)	13,015.23	172.01

Fund Flow (Overseas Investors)

	Close	CHANGE
Stock net flow	1,709	-103.1
Bond net flow	4,240	4390.8

*compared with previous day
(Source: Bloomberg)



Yesterday's market summary

●ドル相場

8日のドル相場は36円前半で取引を開始。パーツ安進行を受けてタイ中銀が臨時会見を行うとの報道があり、朝方は35円後半まで約20サタン大きく下落した。しかし、会見が始まると足許のパーツ安に抗うことは困難であり、政策金利は徐々に引き上げるべきとの従来と変わらないスタンスが確認されて、ドル相場は36円を回復。その後は夜間に米雇用統計発表を控え、オンショア市場は小動き。海外時間、米6月雇用統計が強い内容だったために発表後はドル高で反応したが、米景気後退懸念が縮小するとドル相場は下落、35.88と同日安値圏で引けた。

●ドル円その他

8日のドル円は136円近辺で取引を開始。安倍元首相が奈良市で街頭演説中に銃撃されて心肺停止状態とのヘッドラインが入り、円は対ドルで一時的に0.5%上昇して135.50付近に下落。その後は下げ止まり、徐々に下げ幅を縮めるが、安倍元首相の訃報に触れて再び下押しされた。海外時間では米雇用統計前で小動きだったが、同指標が発表されて米金利が短期中心に大きく上昇。加えて統計発表後にボスティブ・アトランタ連銀総裁が7月の75bp利上げ全面支持をしたことで、136円半ばまで円安が進み、その後は上昇一服したものの136.10と136円台を維持して終えた。

Bangkok Dealer's Eye

先週8日、タイ中銀が急遽会見を開催しました。先週は早いペースでパーツ安が進み、前日7日朝方には36.30円と2016年1月以来の水準まで上昇したことへの対応かと警戒されましたが、会見ではそのような内容は無く、パーツ相場は経済のファンダメンタルズを反映しており、タイ中銀としては何らパーツ相場のターゲットを持っていないとし、市場への介入はパーツのボラティリティを抑制することが必要な時だけと強調しました。加えて、次回8月のMPCにて高まっている利上げ期待に対しても、景気回復ペースが緩慢である中、徐々に金融正常化(金利引き上げ)を進めるべきだとの見解を示し、市場参加者に釘を刺す姿勢を見せました。こうした発言を受けて、大きなボラティリティを伴わない限りは市場の動きに基づくパーツ安が許容されると考えられるため、先週末の良好な米雇用統計を受けてFRBが再び75bp幅での利上げを行うと考えられている中、ドル相場が上値を模索するシナリオに注意したいところです。(鈴木)